



那賀町立相生小学校

あいおい

令和5年度学校便り

N0.24

2023.11.15発行

発行責任者

谷 多美子

一人権参観日(11月10日)

様々な人権課題について、系統的に学習をすすめています。自分の人権(大切さ)とともに、他の人の人権(大切さ)についても正しく理解し、認め合い、人権を相互に尊重し合うことを人権学習の時間を中心に学校生活全体で学んでいます。



アンケートより

授業を参観して

- ・子ども達が活発に意見を言えていて、良かったと思う。
- ・クラスがとてもいい雰囲気、いい仲間に出会えてよかったなと改めて思いました
- ・2年生は、人との関わりについて学べたと思います。5年生は、人それぞれ大切なものの優先順位が違うんだと感じました。どちらの授業も、改めて考えることのできるテーマであったと思います。



広島県の被爆体験記朗読ボランティアの方による講演

講演に参加して

- ・普段、戦争について親子で話す機会がないので、今回こういった場を設けてくれたおかげで帰ってから親子で話し合うことができて良かったと思いました。改めて、家族の大切さや命の尊さ、今ある幸せが当たり前ではないという事に気付かされました。貴重な時間をありがとうございました。
- ・小学生の頃、原爆ドームを見に行った時の事を思い出しました。実際に見て、すごく怖かったのを覚えています。便利な世の中で、情報に溢れ、本当に大切なものが見えにくくなっている昨今、我が子にも、大切なものをしっかり伝えていくことが責務なのだろうと思いました。
- ・朗読を聞くだけで、その時の悲惨な情景が浮かび、作者の気持ちが伝わってくるようでした。改めて、この時代が平和だと感じました。貴重な機会に参加させていただけて良かったと思います。
- ・初めて被爆体験記朗読会に参加しました。知ること、心で感じることの大切さを実感しました。戦争の話をする家族がいなくなった今、大切な時間だったと思います。
- ・どれだけ時間が経っても、戦争の過ち、悲惨さは、途絶えることなく語り継いでいかなければならないと、改めて感じました。いろいろな方法で、子どもの心に響くように、何度も繰り返し伝え続けていくことをやめないでいたいと思います。

県科学経験発表会(11月3日・県教育会館)

5年生の瀧 快斗さんが継続して研究しているカブトムシの産卵について研究したことを発表しました。えさとの関連など、他校の児童も感心して聞いていました。講評の先生が、「科学も芸術も追究することを終わらせることは、“あきらめること”になる」と話していました。瀧さんは、徳島県こども美術展でも受賞され、絵画にも一生懸命取り組んでいます。

